

☆☆めざす児童像：「気づく子 学ぶ子 元気な子」☆☆

大村市立大村小学校
学校だより

感じて動く

文責：校長 高木 修
令和6年8月27日 No.10

☆☆子どもが「喜んで登校し 満足して下校」する学校づくり☆☆

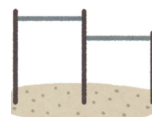
◆ 2学期スタート!!

38日間の夏休みが終わりました。「快晴」を乗り越して「酷暑」続きの毎日でしたが、それぞれの御家庭で、どんな夏休みを過ごされたでしょうか。地震や台風、ゲリラ豪雨と、自然災害により心穏やかではない状況もありますが、本日、予定通りに2学期をスタートさせることができました。大村市では3学期制を実施するに当たって、1学期を「基礎期」、2学期を「充実期」、3学期を「飛躍期」と位置づけています。子どもたちが

1学期に身に付けた「学び・育ち・感性の基礎」を活用し、それをさらに「充実」させることができるように、職員全員で心をつなげて子どもたちと向き合っていきたいと思っています。台風や地震、熱中症等、安全・安心や健康面に十分留意しながらも、できることに精一杯取り組んでいきますので、今学期も御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



◆ 1学期を振り返って



※ 1学期の終業式で、代表で2名の児童が発表をしました。

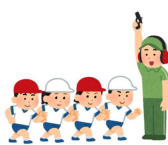
私は、1学期に頑張ったことが三つあります。一つ目は「国語の漢字ミニテスト」です。テストで100点が取れるように、宿題で漢字をたくさん練習しました。ずっと花丸をとれてうれしかったです。二つ目は、「昼休みに鉄棒をしたこと」です。私は最初、鉄棒で何にもできなかったけど、今はお猿さんみたいにぶら下がって、片手を離してじゃんけんができるようになりました。三つ目は、「習い事でダンスを踊ったこと」です。ダンスの前にする体操が、最初は難しくてあまりできませんでした。でも、ずっと続けていたら、体がどんどん柔らかくなって、体操もダンスもどっちもできるようになりました。2学期は運動会があるので、運動会のダンスとかけっこを頑張ります。それから、町探検とかけ算もあるので楽しみです。1学期みたいに頑張って、できることを増やしたいです。

(2年 T.Kさん)



今日で1学期が終わりますが、皆さんはどのようなことを頑張りましたか。私は、1学期に頑張ったことが三つあります。一つ目は「学級目標」です。学級目標は、みんなで案を出し合ってその中から選び、決めました。目標は四つあり、「スマイル」「きまりを守る」「やさしい」「協力し合う」です。その内、「スマイル」「やさしい」は頑張れたけど、「きまりを守る」「協力し合う」の二つはもう少し頑張らないといけないと思います。二つ目は「早寝早起き」です。朝が苦手な私は、「学校かあ、やだなあ」と思う日もあったけれど、気持ちのいいあいさつなど、クラスのみんなのおかげで学校がちょっとずつ好きになってきて、いつも早く寝て、早く起きて、元気に登校しています。三つ目は「体力テスト」です。初めての体力テストでしたが、「上体起こし」や「長座体前屈」など精一杯頑張りました。また、「50m走」では、良い記録が出るように、ゴールの前でスピードをゆるめないことを意識しました。5年生ではもう少し記録を伸ばしたいと思いました。2学期に頑張りたいことは運動会です。4年生では短距離走があるので、体力テストで意識したことをもう一度思い出して、1位をとれるように頑張りたいです。また、4年2組の心をつなげて頑張ることはもちろんですが、それだけでは優勝できないので、各学年の黄組の皆さんとも協力して、一緒に優勝を勝ち取りたいです。

(4年 M.Aさん)





※リモートで行いましたので、実際に長崎市の平和公園で行われている平和祈念式典の様子を映し、黙祷も、会場方々とともに行いました。

◆ 平和を願って

8月9日（金）に平和祈念集会を開催しました。計画では、第一部は各教室をリモートでつないで行い、第二部は体育館に集まって行うようにしていましたが、当日は気温が高く、熱中症等の心配もありましたので、すべてリモートで行いました。内容は、下記のとおりです。

※進行：集会委員会

〈第一部〉10:00～10:30

- ①はじめの言葉（6年生）
- ②平和学習を通して学んだことの発表（2・4・6年）
- ③平和に関する本の読み聞かせ（図書委員会）
- ④千羽鶴を託す（企画委員会→4年生）
- ⑤平和の誓い（企画委員会）

〈第二部〉10:52～11:10

- ⑥校長講話
- ⑦黙祷
- ⑧歌「折り鶴」
- ⑨おわりの言葉（6年生）

■ 「おわりの言葉」を紹介します。

皆さん、平和集会はどうでしたか。戦争は「遠いところで起こっていること」とか、「昔に起こったこと」と思っている人もいると思います。ですが、小さな争いごととは私たちの身の回りでもたくさん起こっています。私は、みんなが思いやりをもって行動することで、小さな争いごとは減らしていけると考えました。少しずつでもいいから、小さな争いごとが減っていくと、少しでも世の中が平和になっていきます。だから、みんなが一人一人を思いやって行動することが、平和な世界への第一歩につながると思いました。まずは身近な「大小っ子宣言」の「ありがとう、ごめんなさいが言える大小っ子になります」などから始めて、お互いを思いやって過ごせるようにしていきたいです。

（6年 K. Kさん）

※ 今年の平和記念式典で長崎市の鈴木史朗市長が読み上げた「長崎平和宣言」の中で、長崎の詩人、福田須磨子さんが綴った詩が紹介されました。

原爆を作る人々よ！
 しばし手を休め 眼を閉じ給え
 昭和二十年八月九日！
 あなた方が作った 原爆で
 幾万の尊い生命が奪われ
 家 財産が一瞬にして無に帰し
 平和な家庭が破壊しつくされたのだ
 残された者は
 無から立ち上がらねばならぬ
 血みどろな生活への苦しい道と
 明日をも知れぬ”原子病”の不安と
 そして肉親を失った無限の悲しみが
 いついつまでも尾をひいて行く

原爆を作る人々よ！
 今こそ ためらうことなく
 手の中にある一切を放棄するのだ
 そこに初めて 真の平和が生まれ
 人間は人間として蘇ることができるのだ

福田須磨子さんは、23歳の時、爆心地から約1.8km地点の長崎師範学校（現 文教町）で被爆されました。原爆で両親と姉を亡くし、自身も紅斑症などの後障害に苦しみながら、被爆者の苦しみや戦争の悲惨さ、平和への思いについて詩やエッセーを通じて訴え続けておられます。〔1974年（昭和49年）4月死去〕